



414  
A 484



明治八年一月十八日

六等出仕土山盛春

大正十一年四月  
大隈侯爵寄贈

卿  
輔  
丞

當藏首御建徽之音、其當省に於て新に管商の政  
相設るる身裁制章程等取調を好有之別冊、通  
及迄功り尤も右制定の巻末譯本並國ノボードオフ  
ワレソドニ模倣し我現今施行の官制に照準し以テ辭酌



折中ヲ加ヘ務ク我ニ於テ適當セシムル事ヲ以テ一  
 斯ニ新設官府ノ儀ニ於テ職制章程ノ前由ニ於テ二三  
 條其旨趣體裁等ヲ揭載示ス致シテ我ニ都合  
 免レガレテ先格ニ拘ハラス更ニ甲印ニ通シ一紙ニ認メ  
 名ケテ管商局ノ設置條款トシ職制章程ノ前由ニ設置  
 併セテ之信照シス也

大正十一年四月  
 大隈侯爵郵寄贈

管商局設置條款

管商局職制

管商局事務章程

管商局設置條款

- 一 管商局ハ大藏省ノ一分局ニシテ其規程體裁等一ニ各察  
 ノ本省ニ於ケルガ如シ故ニ章程中一々箇條ヲ排列セシテ  
 特トニ其大旨要領又、殊異ノ條件ヲ掲載ス
- 一 管商局ハ一等察ヲ列ニ加ハリ租稅寮ノ亞タシベシ
- 一 管商局ノ總裁ハ即チ大藏卿ナリト雖モ事宜ニ依リ體裁  
 ヲ存<sup>要</sup>スル中ハ更ニ管商局總裁ノ名稱ヲ以テ諸指令布達其  
 他ニ從事スルナアルベシ故ニ職制中姑ラク總裁ノ職ヲ列  
 置シ以テ變通ノ用ニ應ス

管商局職制

○總裁

一員

即大藏卿ノ別稱

ルヲ掌トル

局中諸官員ノ處務ノ指令シ各課各部ノ事ヲ幹理ス

局中諸般ノ事務其成規ト章程トニ照シテ之ヲ踐行修整

スルニ於テハ大藏卿ニ對シ擔保ノ責任ヲ有ス

掌管ノ事務ニ於テハ大藏卿ニ對シ其當否ヲ論辨スルヲ

ヲ得ル

各課各部ヲ廢立更正シ又ハ其官員ヲ左右交替スル等ノ

事アラハ大藏卿ノ決判ヲ乞テ之ヲ處置ス  
局中諸官莫ク能ク勤惰ヲ監視シテ之ヲ進退黜陟シ又ハ  
之ヲ増減スル等ハ審案具狀シテ大藏卿ニ呈シ其決判ヲ  
乞フ

○一等委員

定員十シ

權宜撰任スル者ノ補員(即チ御用掛)ニシテ其職掌責任時  
々ノ指令擬定ニ因ルモノトシ其人ハ則チ本省他省非役  
等ノ別ナク其人ノ才能地位ヲ照ラシ以テ之レニ任スル  
モノトス○以下委員皆同シ

以上勅任官又ハ其地位トス

○權長

四等官

定員十シ

職掌責任長ニ亞ク

長欠席スルカ又ハ欠員ノトアレバ一切長ノ職掌ヲ代理  
スルコトヲ得ル

一課又ハ一部掛ヲ系テ之ヲ統管スルコトアレバ其課中又ハ  
部内ノ事務ヲ調理スルニ於テハ大藏卿ニ對シ特ニ其責  
任ヲ有ス

但シ此時ニ於テ課中部内ノ官員ヲ便宜指令シテ其處  
務ヲ修整スルコトヲ得ル

○二等委員

定員十シ

○次長 五等官 定員十二

局中各課各部ノ事務ヲ擔當スルヲ掌トル  
各掌管ノ事務ヲ整理スルニ於テハ長ニ對シ其責任ヲ負  
ス

○三等委員 定員十二

○權次長 六等官

職掌責任次長ニ亞ク

○四等委員 定員十二

○五等委員 七等官 定員十二

以上之ヲ奏任官又ハ其地位トス

○一等書記生 八等官

○二等書記生 九等官

○三等書記生 十等官

○四等書記生 十一等官

○五等書記生 十二等官

○六等書記生 十三等官

○七等書記生 十四等官

○八等書記生 十五等官

以上之ヲ判任官トス

右一等書記生以下ハ人員ハ事務閑劇ニ從ヒ増減アルモノ

大藏省

トス

○委員補

定員十シ

局中制定施行スル所ノ事務上(即チ官民會社規約其他株式取引所條例ノ如キ凡ソ官ニ於テ之ヲ擬定シ人民ヲシテ履行從事セシムルモノ)ニ付キ就問質疑シ又ハ其實際否ノ如何其他ヲ詳知スル為メ該社役員ノ官事務ヲ擔當シ又ハ之レニ于預スルモノニシテ本局ニ於テ至當トト思考スル人々ヲ其事ノ評議ニ出席セシメ又ハ彼ヨリ出頭ヲ願フモノ、為メニ設置スル所ノ員外即ニ此人等ハ大抵官民會社株式取引所其他ノ頭取支配人等

ヲ以テ之レニ任シ與フルニ議事ノ權若シテ以テ之レニシテ忌憚ナク其事ノ得失利害ヲ陳述セシムルニ任シ但シ此委員ノ動作云為弁議事ノ程限

冊ニ詳ラカニセリ

日本銀行  
 庶務課  
 庶務係  
 庶務係長  
 庶務係員

トス

○委員補

定員十シ

局中制定施行スル所ノ事務上(即チ官民會社規約其他株式取引所條例ノ如キ凡ソ官ニ於テ之ヲ擬定シ人民ヲシテ履行從事セシムルモノ)ニ付キ就問質疑シ又ハ其實際適否ノ如何其他ヲ詳知スル為メ該社該所ノ營業事務ヲ擔當シ又ハ之レニ于預スルモノニシテ本局ニ於テ至當ナリト思考スル人々ヲ其事ノ評議ニ出席セシメ又ハ彼ヨリ出頭ヲ願フモノ、為メニ設置スル所ノ員外郎ニシテ此人員ハ大抵官民會社株式取引所其他ノ頭取支配人等

ヲ以テ之レニ任シ典フルニ議事ノ權若シテ以テ之レニシテ忌憚ナク其事ノ得失利害ヲ陳述セシムルヲ以テス但シ此委員ノ動作云為弁議事ノ程限條款等ハ之ヲ別冊ニ詳ラカニセリ

此程限條款  
 執事書



トス

○委員補

定員十人

局中制定施行スル所ノ事務上(即チ官民會社規約其他株式取引所條例ノ如キ凡ソ官ニ於テ之ヲ擬定シ人民ヲシテ履行從事セシムルモノ)ニ付キ就問質疑シ又ハ其實際適否ノ如何其他ヲ詳知スル為メ該社該所ノ官事務ヲ擔當シ又ハ之レニ于預スルモノニシテ本局ニ於テ至當ナリト思考スル人々ヲ其事ノ評議ニ出席セシメ又ハ彼等ヨリ出頭ヲ願フモノ、為メニ設置スル所ノ員外郎ニシテ此人員ハ大抵官民會社株式取引所其他ノ頭取支配人等

ヲ以テ之レニ任シ典フルニ議事ノ權若シテ以テ之レニシテ忌憚ナク其事ノ得失利害ヲ陳述セシムルヲ以テ之レニ任シ但シ此委員ノ動作云為弁議事ノ程限條款等ハ之ヲ別冊ニ詳ラカニセリ

大藏省

此程限條款等ハ他日  
 執事ニ審案ニ付ス

管商局事務章程

第一條 管商局ハ一切商賣貿易ノ事ヲ掌管スル所ナリ

第二條 本局掌管ノ事務ヲ區分集シテ左ノ件トス

一 諸商社創立ノ承認又ハ允許ヲ共フル事

附其條例ヲ制定施行スル事

一 保險商社其他凡百合本商社ヲ處分整頓スル事

一 株式取引所ヲ管理成立スル事

一 國立銀行ノ創立准允ニ干預スル事

一 為替座ヲ創起スル事

- 一 技術會社ヲ獎勵管理スル事
- 一 不動産處置ノ法則ヲ制定施行スル事
- 一 人民財産保護ノ方法并其所持讓渡等ニ付之ガ規則ヲ制定施行スル事
- 一 在來鐵道ヲ處分スル事
- 一 鐵道并乘合馬車ノ開業運用ヲ監察不差配フ事
- 一 水道并瓦斯燈ノ開業ヲ幹理スル事
- 一 度量衡ヲ發行改正スル事
- 一 内外ノ商賣貿易上ニ於ケル條約ヲ結ビ又ハ之ヲ改良スル事

- 一 諸發明ヲ記録保護スル事
- 一 專賣免許ヲ與フル事
  - 附其規則又ハ條例ヲ制定施行スル事
- 一 出版免許付與ノ事ニ干預スル事
- 一 商賣保護印ノ規則ヲ制定シ及ビ之ヲ施行スル事
- 一 工藝職業上ノ展觀場博覽會ヲ幹理スル事
- 一 船艦ヲ點檢測量シ及ビ之ヲ記録スル事
- 一 一切商船ヲ監督管理スル事
- 一 郵船ヲ檢査スル事
- 一 官船ヲ運用スル事

- 一 海路水先等海上暗所ノ規則ヲ詮議試験スル事
- 一 海上ノ狼火并救船其他凡ソ海上ニ於テ人命ヲ救護スル諸器具ノ用法ヲ検査試験スル事
- 一 船長副船長并水夫ノ健康習熟等ヲ検査試験スル事
- 一 海上諸港埠頭海濱燈明臺等ニ関涉スル事務ニ干預又ハ之ヲ調理スル事
- 一 諸船ノ破壊又ハ燒失セル事由ヲ尋究スル事
- 一 凡百商賣物品并賦稅額數ヲ記載シ及ク之レガ計表ヲ制スル事
- 一 統計表ヲ刈集スル事

- 一 輸出入物品ノ書上ヲ取纏ムル事
  - 一 内國出產ノ穀物ニ付キ其額數ヲ調査上申スル事
- 第二條 權宜本局ノ事務ヲ分テ課又ハ掛トスル左ノ如シ

○會社課

諸會社國立銀行等ニ関スル一切ノ事件ニリテ產子置并財産保護ノ方法調査及ヒ鐵道處分ノ事務ヲ主理ス

○株式取引所掛

株式取引所ノ差配管理并ニ米油會社ノ事ヲ併理ス

○運用課

官船運用ノ事ヲ主理ス

○奨勸課

諸明發專賣免許其他ノ如キ凡百商賣又ハ職業ニ付テ  
ノ奨勸事務ヲ主理ス

○點檢掛

諸船艦并鐵道水道俄斯其他ノ開業運用ニ於ケル巡察  
檢査ノ事務ヲ主理ス

○度量衡改正掛

○條約改正掛

以上兩掛既ニ大藏省中ノ設置ニ係リ今之ヲ此局ニ

合併ス

○計表課

凡百統計記載ノ事務ヲ主理ス

第四條 此章程中他日増損ヲ要スルコトアラバ管商局長ヨリ

議案ヲ具シテ大藏卿ニ出シ政府ノ決議ヲ得ル之ヲ加除更  
正スルコトヲ得ベシ

右管商局職制及ヒ事務章程

上裁ヲ經テ決定スル所ナリ各員能ク之ヲ守リ其程限ヲ愆ル  
勿レ

年月日

大藏卿名印

管商局長宛

英國  
ボードオフトレディン  
グアレシデン  
トノ事

英國 ホード・オブ・ツレド 高賣事務ノ アレシデン ト 長又

義ノ事 義 **英國政體史略校** 木村一歩 譯 土山盛有 校

ホード・オブ・ツレド ノ アレシデン ト ハ 常ニカビ子 ト ミニスト ト 内閣大臣ノ義

ニシテ各省ノ卿又ハ長官ヲ始メ下又平謂アリビ ト コンシ ト 此即ハ極密議官

ノ内ヨリ何レモ首輔宰相ノ意見ニテ然ルベキ人物ヲ出仕ヤシメ共ニ機密ノ事

ヲ協議スル モノナリ ノ一頁ニシテ政府ニ在 テ至重ノ地位 ナリ 畢竟我國 英國ヲ指ス以

下之レ ニ傲ヘハ 商賣貿易ヲ以テ其國ヲ立ツルガ故ニ此局ノ長官タル者

ハ 俊才貴重ノ人物ニ非ザレバ則チ不可ナリ蓋シ我國ハ 礦山多ク

製造夥シク凡百物産ノ出入賣買又極メテ盛大ナリ其石炭ト鐵

トニ富ムヤ之ヲ以テ國民一般ノ需用ニ充テ 尚餘贏アル 事

ノ 必然ニシテ我商人常ニ鐵道又ハ船舶ノ便ヲ借テ此有餘ノ

物品ヲ國內諸邑ニ帶クニ非スニ。則チ海洋ヲ渡リ其物品ヲ要  
 求セル諸國ニ帶<sup>販賣</sup>ケリ又茶棉ノ如キハ我國ニ産セザレ氏國民  
 一般ノ必需品タルヲ以テ我商賈常ニ此品ヲ外國ヨリ輸入シ未  
 タレリ尤モ茶ハ以テ我々毎日ノ飲用ニ充ツル丈ケナレドモ棉  
 ノ如キハ我商賈之ヲ生品ニテ持込ニ紡織者ヲシテ更ニカキ其  
 他ノ要用品ト為サシム此カキ其<sup>他</sup>極ムノ多キガ故ニ  
 之ヲ多少ノ民用ニ供シテ尚ホ多量ノ餘贏アリ故ニ我商賈此餘贏  
 多量ニ織貸ヲ國外棉ヲ産セザルノ地又ハ紡織行ハザル地又或  
 ハ海外ノ人民紡織ヲ事トスルモノ購求送致ヲ欲スル者ヘ夫レ  
 輸送シ以テ其利益ヲ獲ルモノナリ此外外國商貨物産ノ

我諸港ニ輸入スル者陸續トシテ絶ヘス而メ國民之ヲ用ヒテ  
 尚ホ多量ノ餘贏アルヲ免レス我商人又更ニ之ヲ舶載シテ諸邦  
 人民ノ要求止マサル者供給スル者勝テ數フベカラス我英國<sup>要</sup>  
 ノ他邦下其高賣貿易ノ盛ニナル如此シ是レ實ニ我國富實ノ  
 源由ナレバ運搬輸送ニ從事スルノ民<sup>乃チ高ニハ</sup>極メテ人民中至  
 要ノ儕輩ナル知ルベシ然而メ此局ハ職トシテ是等人民ノ差而  
 弁右ニ關涉セル凡百事務ヲ管理スルモノナリ  
 高賣貿易事務如此ク重大ニシテ稱シテ枝葉ニ屬スル者  
 又極メテ多キガ故ニ此局ノ差配管理スル所亦隨テ多クシテ  
 千鐵道乘合馬車ノ開業運用ヲ監督差配スル事及度量



衡并商品ノ税額表原書カ  
ニ作ルヲ發行改正スル事諸發明ヲ  
 記録保護スル事出版免許ヲ與スル事技術ノ集會ニ  
 職業ノ展覽會及水道瓦斯燈開業ヲ幹理スル事會社  
 創立承諾又ハ允許狀ヲ與フル事保險其他凡百合本會社ヲ處  
 分救正頓スルノ事等ヲ舉ケテ都テ此局ノ掌管ニ在ルモノタリ  
 此諸事件ノ外凡ソ海上燈明臺諸港埠頭ビヤ海濱并蠟  
 淡菜ノ漁業ニ關係スルノ事尤モ其重任タリ又船艦ヲ點檢測  
 量シ及之ヲ記録スル事錨錠ヲ試ミル事郵船ヲ檢査ス  
 ル事船長副船長并水夫ノ健康習熟及之海路水先案  
 内海上暗号ノ規則ヲ詮議試驗スル事海上ノ狼火ロツケ并

救船破船ノ難ニ遭フ人ヲ救  
フ為ノ用意ニシテ舟ナリ其他凡ソ海上ニ於テ生命ヲ救フ諸具  
 ノ用法ヲ檢査試驗スル事國外ニ在ル病水夫ヲ世話スル事其  
 他海上ニ於テ諸船ノ破壞燒失セル源由ヲ尋究スル事等又其  
 掌管ニ屬セリ凡ソ我國ノ諸官府ニ在リ其長官カ者其人ヲ要ス  
 ル未タ曾テ此局ノ長官ニ於ケル如キモノス即チ此人ハ特  
 ニ商賣貿易ノ法律規則其他凡百要用ノ大體要領ヲ十分  
 曉知スベキ器量アルヲ要スルニナラス凡ソ為政處務ノ詳細  
 節目ニ至ル迄都テ之ヲ領知辨理スルノ才能アルヲ要セリ而シテ  
 此長官ハ今日其差圖ニ依テ能ク外國條約ノ大事件ヲ處  
 了レバ又明日ハ郵船並氣鐘ノ檢測ニ從事スルニ非ズバ則チ牝孺

漢場ノ規則ヲ擬定スル等ノ小事件ヲ取扱フガ如キハ大輕重  
事機密其關係定マリ有ルナシ

名義トヨリシテ之ヲ見レバ此局ハナリビト云フニシテ也即チ極密議官ノ義ニシテ也

二國王ノ左右ニ在テ其輔翼ト爲リ一切ノ政教指示此ニ因テ設施スルヲ猶  
ホ或太政官ノ如シ但其人ハ則チ各省ノ卿又ハ長官其他ノ職員ニシテ其根軸

樞機ハ則チガビツトニシテ此即チ内ノ職員ヨリ成立ツモノニシテ此時  
閣大臣ノ管理運動ニ在ルモノナリ

負ハ即チ所謂譯ライトオナレブル譯ローツス譯オス譯

セ冠コムミツチ譯オス譯ハア譯エス譯チ譯ス譯ノ譯ス譯ブリビ譯コン

譯即チ極密議官ノ名目ニテ商賣貿易并國外殖民地關係ノ事

務ヲ管理センガ現今ハゴロニヤルオフナリ譯即チ殖民地事

務局アリテ此局ヨリ右丈ケノ事務ヲ引拔キ更ニシテ此ニ

管理スルガ故ニ此局ハ專ラ賣買貿易ノ事務ヲ主掌スル

モノナリ勿論此局ハ如此クアリビト云フニシテ此委員ヨリ成

立ツト雖モ其實ハ則チ此フレシデント云フ其バアリヤメンタル

イセクレタリ議院出席ノセクレタリト云フ義ニシテ此セクレタリト

一員ニテ議院并國家ニ對シ局内事務ノ責ニ任スルモノトス

而ノ其次ニハ子ニトセクレタリ永久在職ノセクレタリト云フ義ニシテ此セクレタリト云フ

ノ同僚退職スルトモ更ニ之レニ人  
關係スシテ依然其職ニ在ル者ナリ副セクレタリト云フ三人アリテ右フレシデ

ント云フバアリヤメンタルイセクレタリト云フ指揮監督ヲ受ク人ニ

局内ノ事務ヲ處テ調理シテ之ヲ商賣貿易ニ關係シタル議

院ノ條例ノ條款事件ヲ設施奉行スルモノナリ而メ之ヲ商賣

貿易ニ關係スル事件ヨリ立法院即上下ノ此事件ニ於テ上旨趣  
 目的ヲ貫達スルハ此局全ク其擔當首魁ニシテ到底此局平常  
 目的注意ハ國內一般即上下官民トモ夫レク都合能ク事務  
 ヲ舉ケ職業ヲ遂クルヤ否ヤト及ビ其生命財產都テ安全堅固  
 ナリヤ否ヤトヲ視察スルニ在リ假令ハ此局官吏ヲ検査ヲ受  
 クルニ非サレハ鐵道又ハ乗合馬車ノ啓行ニ從事スルヲ得ス  
 又此局ノ規則ニ準從スルニ非サレバ郵船ヲ開キ行客ヲ運ブ  
 得サルカ如キ凡ソ是等ノ舉全ク會社ノ意ノミニ任スルハ其施  
 設完全ナラズシテ人民ヲ傷害センヲ患ヘテナリ又海上ニ在  
 ル船舶ニ用ユル燈籠ニ於ケルヤ如何ナル規則命令ヲ發施シ

然ルベキヤ是レ又此局ヨリ國王へ建議シ以テ之レニ從事スル  
 一所ノモトナリ且ツ此局ハ統計表ヲ刈集シ併セテ輸出入品ノ  
 書上テヲ取纏メ國內產出ノ穀物ニ付キ其行届リテ精細額數  
 ヲ調査上申シ又此局ハ國中ノ商船ヲ管督スル因リセヨヤル  
 子王ノブル海軍豫備ト云フカ如シノ士官水夫等ヲ毛併セテ管掌保持シ其  
 給料雇賃ヲ支給スルヲ掌ル  
 此局アレシメントノ役料ハ毎二歳ニ封度ガクレタリト二人ノ  
 ハ各々一千五百封度副セクレタリト三人ハ各々一千二百封度ト  
 ス而シテ此局ノ費用ハ大抵一ヶ年十萬封度額數ニ及ベリ

大藏卷